

～育てよう 楽しもう 花作り～

# キクを栽培してみよう



<撮影協力>東京都立農産高等学校



## キク(ポットマム)とは…

アメリカで改良された、わい性の鉢植えされたキク  
※わい性…本来の大きさよりも草たけが低く成熟すること

### ◆もくじ◆

1	キク栽培の流れを確認しよう .....	1
2	キクの栽培方法(さし木) .....	2
3	キクの楽しみ方・活用方法 .....	6
4	キク栽培(さし木)の記録簿 .....	7

名前

# 1 キク栽培の流れを確認しよう



みんなで、キクを栽培して秋を感じてみませんか。

## ●キクは、いつごろ日本に入ってきたの？

奈良時代に、中国で品種改良されたキクが日本に入ってきました。日本の自生種と交配した品種が古くから親しまれ、色々な場面で使われています。キクの切り花生産技術は、世界でトップクラスです。

最近では、結婚式のブーケに合う花色や形をした切り花用のキクも作られ、流通しています。



## 1 キクの栽培方法を知ろう

### ●さし木とは？

植物の一部を切り取り、土に挿して根を出させ新しい個体を作ること。簡単な繁殖法で、種子から育てるより早く成長します。

### ●どんな品種が適しているの？

- ①花の大きさは中輪くらい
- ②よく枝分かれする品種
- ③茎が太く堅い品種
- ④葉と葉の間が狭い品種
- ⑤病害虫に強い品種



## 2 キクの栽培の計画を立てよう

### 栽培スケジュール

### 【関東地方の例】

6月上旬	1. 親木*を育てる *説明はP.2にあります さし木用に茎を太くするために肥料をあたえる。(太い茎は根が多く出やすい)
8月上旬	2. さし木 親木からさし木用のさし穂*をとり、バーミキュライトに植え発根させます。*説明はP.2にあります
9月上旬 (さし木から2週間後)	3. 鉢上げ さし木から2週間ぐらいたったら、5号鉢に植えます。
9月上旬～中旬 (鉢上げから1週間後)	4. 摘心(てきしん) 枝の先端の芽を取ると下の芽が枝分かれして成長し枝の数が増える。
10月上旬～中旬 (摘心から3～4週間後)	5. 追肥(ついで) 生育に合わせて液肥を1,000倍にうすめて1週間に1回開花まで行う。
10月下旬～11月中旬 (開花期間約3週間)	6. 摘蕾(てきらい) 1本の茎に4輪のを目安に余分な蕾を取ると多くの栄養が残った蕾に集まり良い花を咲かせる。1本4花を残す。
	7. 開花後の管理法 乾燥しないように水をあたえ、花びらが枯れたら花を早めに切り取ると次の蕾がよく咲き長く楽しめる。



## 3 キクを活用して楽しもう

●栽培したキクを学校に飾ったり、お世話になった方にプレゼントするなど開花後の活用法を考えましょう。

大切に育てた花を、家族やお友達にプレゼントしたらきっと喜ばれるでしょう。

## 2 キクの栽培方法（さし木）



### 1 親木の育成

#### ●親木(おやき)とは

さし木をするために必要なさし穂をとるためのキクの株のことです。



菊の親木

#### なんでも増やしていいの？

キクに限らず、草花などで品種登録をしている品種については、勝手に増やしたり販売してはいけません。

#### ●さし穂とは

(さし木をするために、茎や葉の部分を差し床に刺して発根させたもの)  
良いさし穂とは、茎が太く葉色が濃く葉と葉の間が狭くしっかりしたもの。  
良いさし穂を作るには、よい親木を育てることが大事です。

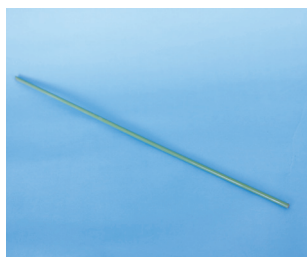
1ヶ月ほど前から親木に化成肥料を少量与えて健康な強い株にします。



さし穂

### 2 さし木の準備と方法

#### さし木に必要な道具や資材



①直径3mm程度の棒



②プラスチックの名札



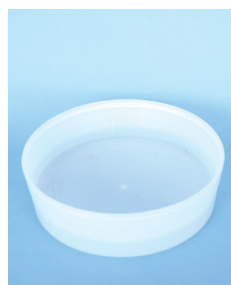
③同サイズの容器2つ(1つには側面に水はけ用の穴をあける)



④バーミキュライト



⑤霧吹き



⑥水を入れた容器

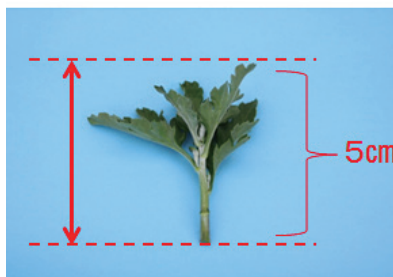


⑦さし穂

### さし木の方法（8月中旬）



①親木が大きく育ったら、葉の先端から5センチぐらいのところをハサミで切る。



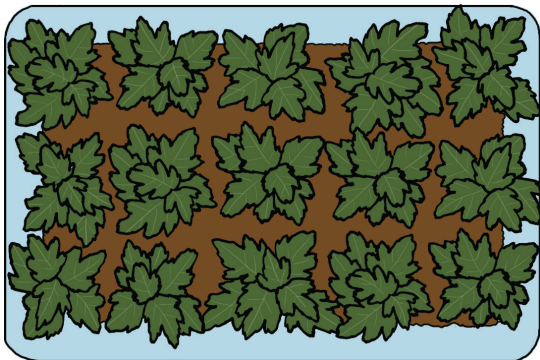
さし穂は、葉から水分が蒸散しすぎないように4枚程度の葉を残して下葉をとる。



②ボールやコップなどの容器に水を入れておき、さし穂の切り口を乾かさないうに、すばやく水につける。10～20分程度吸水させる。



③さし穂の切り口についている水を軽くふき取る。



植えつけのイメージ図

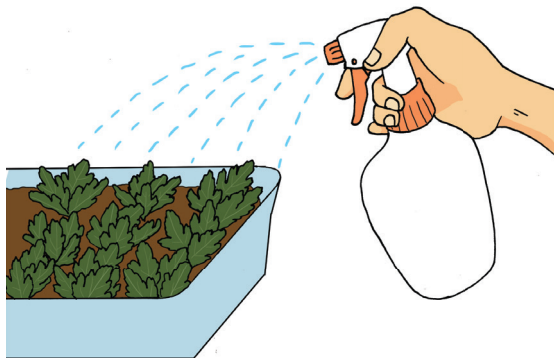
④〈15cm×20cmの容器の場合〉さし穂は、葉と葉が重なり過ぎないように、3×5列で15本程度を目安に植える。



### ポイント!

棒を挿すときには片方の手に、さし穂を持っておき、棒を抜くと同時に、すばやくさし穂を用土の中に入れます。

⑤水を十分に給水させたバーミキュライトを容器に入れる。バーミキュライトに棒をまっすぐ挿して2cm程の穴をあけ、棒を抜くと同時にさし穂を入れる。



⑥全体に、霧吹きで水をかける。土や葉が乾かないように、2～3日おきに霧吹きをする。



⑦容器から葉がはみ出さないようにします。



## 管理方法

- 乾かさないうで湿度を保つようにしましょう。(上から容器をかぶせるとよいでしょう) 風があたると発根が遅れます。
- 土や葉の表面が乾く前に、霧吹きを全体にかけます。
- 名札に、さし木をした日付、花の名前、などを書いておきます。

2017  
8/15  
ポットマム(黄)



⑧容器を上にかぶせて、乾かさないうで湿度を保ちます。直射日光があたらない風通しの良い半日陰に置きます。

### 3 鉢上げと直後の管理（さし木から約2週間後）

#### 鉢上げに必要な物



5号鉢



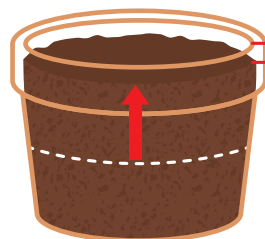
培養土



緩効性肥料



鉢の半分ぐらいまで、培養土を入れて、緩効性肥料(ゆっくり効く)を4~5粒入れます。



鉢の上から、2cmぐらいのところまで培養土を足していきます。

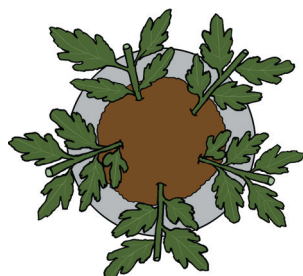


① さし木から約2週間ぐらいたち、十分に発根したら鉢上げをします。鉢上げとは、ひとまわり大きい鉢に植え替えることです。

引き抜くと、根を傷つけてしまうので、ヘラなどを差し込み下から掘りあげるようにすると良いでしょう。



② 鉢の縁に添わせるように、さし穂を均等に5カ所に置いていきます。斜めに外側を向くように置いていくのがポイントです。



上から見たところ



横から見たところ



③ さし穂を挟むように、人差し指と中指でおさえます。土の中に、しっかりと根が入るように植えます。



④ 葉と葉が重ならないように植えます。土の表面を平らにならしたらできあがりです。水をたっぷりかけて、しばらくは乾かさないようにしましょう。

#### 鉢上げのコツ



- ① さし穂はしおれやすいので日陰で風が当たらない場所で行う。
- ② 5本の苗は鉢の中に等間隔に置き鉢の縁(ふち)に密着させると成長が均一になる。
- ③ 根をしっかりと指で押さえて土をかけて、密着させ乾燥をさせない。
- ④ 鉢土は鉢の縁(ふち)から1cmほど低くする。水やりが楽になる。
- ⑤ 最後に鉢土を平らにする。鉢土の乾きが均一化する。

## 4 摘心 (てきしん) の方法 (鉢上げから1週間後)

### ●摘心(てきしん)とは、

鉢上げから約1週間ほどたち活着したら、先端の芽を摘みます。これを、摘心又は、芽摘みといいます。枝の先端の芽を取ると下の芽が成長して枝の数が増えて花の数が約3倍になります。



ハサミを使って先端を切っても良いです



鉢上げから1週間の状態



ピンセットや指先でつまむようにする  
※ピンセットは、先が尖っているので大人の人と一緒に使いましょう。



先端の芽を摘む

## 5 追肥

キクは、たくさんの花が咲くので多くの肥料を必要とします。鉢上げ後、1ヶ月に1回は固形の緩効性肥料を与え、液体肥料を10日に1回与えます。液体肥料は、即効性があるので蕾も開花しやすくなります。

## 6 摘蕾 (てきらい) の方法 (摘心から3~4週間後)

### ●摘蕾(てきらい)とは、

大きな花を咲かせるなどのために、一つの蕾(つぼみ)だけ残して余分のつぼみを摘み取ることを摘蕾(てきらい)といいます。

### なんで蕾(つぼみ)をとるの?

蕾が多すぎると栄養が行き渡らないので、開花が遅れ花が小さくなる場合があります。



- ① 太陽の光がたくさん当たるようにします。
- ② 風通しが良くなるように隙間を作ります。
- ③ 1つのつぼみに栄養がたくさんいくようにします。



余分な蕾を摘み取ります

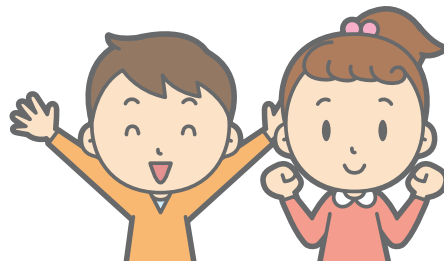


茎が伸びてきたら、風などで倒れたり折れたりしないように、支柱を立てて留めたり、朝顔の行燈仕立てを参考に数本の支柱を立て、針金で茎を留めると良いでしょう。

摘蕾から1ヶ月~1ヵ月半ぐらいで開花します。

## 7 開花後の管理方法

たくさんのお花を咲かせるためのコツを覚えておきましょう



### 水やり



土の表面が乾いたら根元にたっぷり水をあたえます。鉢底から流れ出るぐらいが目安です。

### 花がら取り



花の色が変色してきたら蕾を残して、早めに摘み取るのが、長く花を楽しむコツです。

### 病害虫



日頃からキクの様子を観察しましょう。アブラムシなどを見つけたら早めに対処することが大切です。病気の葉を見つけたら取り除きます。

## 3 キク楽しみ方・活用方法



育てたキクを身近な場所に飾って楽しみましょう。

10月頃には、キクの様々な催しなどが開かれています。

### 品評会や展覧会

旧暦の9月9日は現在の10月頃で、各地で菊の品評会が開かれています。

近くの催しを調べて見に行ってみましょう。きっと秋を感じられるでしょう。



新宿御苑 菊花展の展示

### キクの行事「ちようよう せつく重陽の節句」

重陽の節句とは、五節句の1つです

1月7日 人日      3月3日 上巳の節句  
5月5日 端午の節句      7月7日 七夕  
9月9日 重陽の節句



いけばな 菊の三重

9月9日は旧暦では菊が咲く季節であることから「菊の節句」とも呼ばれます。

めでたい日とされお酒や料理お茶や菓子などを持って小高い山に登り、紅葉を眺めながら1日を楽しみ、邪気を払ったといわれています。菊の花は不老長寿に結びつくと信じられており、重陽には特に菊の花を浮かべた菊酒を飲むのが慣わしになっていました。

### キクを使った飾り

秋になると、さまざまな種類のキクがお花屋さんの店頭並びます。

幼稚園や保育園、小学校の行事にあわせた作品づくりや自宅にも花を飾ってみましょう。



園児のいけばな作品

### エディブルフラワー(食用菊)

食用菊は、昔からさまざまな料理に使われてきました。殺菌効果があるとされ、お刺身に添えたり、おひたし・酢の物などがなじみがありますが、最近は、サラダや洋風の料理にも取り入れられています。皆さんも色々な料理に挑戦してみてください。※料理に使う時は、食用に栽培された菊を使用しましょう。

<作成協力>東京都立農産高等学校

# 4 キク栽培の(さし木)記録簿



植物名	キク(ポットマム)	学名	chrysanthemum
品種名		原産地	中国

【品種の特性】

日付	項目	作業内容
月 日	1.親木づくり	
月 日	2.さし木	
月 日	3.鉢上げ	
月 日	4.追肥	
月 日	5.摘心	
月 日	6.摘蕾	
月 日	7.開花	
月 日	8.管理	

活用方法		日付	年 月 日
------	--	----	-------

栽培したポットマムの活用

【実施内容】

(作った物)

【絵・写真】

【感想】